

記念式典演奏者 織田麻祐子氏(ピアニスト)の演奏者から見たSAKURASの魅力・特徴



1.全国的にも珍しい「もみあげ席」

ループ状に繋がるホール客席が特徴で、上手側「もみあげ席」の存在がステージから客席へのフラットなアクセス可能にしています。お客様はもちろん、舞台人にとっても十分に刺激的な場所なので、演出面でもSAKURASならではのアイデアが生まれそう。音が良い隠れスポットでもあります。



2.ステージをぐるりと取り囲む「バルコニー席」

例えばオーケストラ公演等では、指揮者の表情やプレイヤーの様子をつぶさに見ることができるので、新たな視点で舞台を楽しむことが可能です。また息遣いでさえも感じられるかもしれません。

このバルコニー席があると、演奏者は「お！今日は見られている！」とちょっと気が引き締まるものです。



3.音響設計にこだわったSAKURASの響き

数々のコンサートホールの音響設計を手掛けるプロにより設計されているので、演奏する我々としても安心。クラシックコンサートに適した、ステージ高さ15mの天井が確保され、壁や天井は固いコンクリートそのまま。これがステージで出した生の音を適度に客席に音を返す役割を果たし、豊かな響きを楽しめます。

演奏者としても響きの助けは大きな利点。ぜひ多くの演奏家にSAKURASの響きを体感していただきたいです。



4.客席天井からの自然光

SAKURASならではの仕掛けが、客席天井にある九角形のハイサイドライト。通常のホールは昼も夜も変わらぬ空間ですが、リモコン操作により天井サイドのカーテンを開けることで、天井窓から自然光を取り込むことが可能です。

客電が必要ないほど明るくなり、時間帯によって光の入りが変わるので、これもまた演出欲を掻き立ててくれます。

